

在留外国人アンケート調査結果（概要）

～調査概要～

○ 調査について

（対象）本県に住む外国人（約16,000人）のうち、上位7か国（中国、ブラジル、フィリピン、韓国、ベトナム、タイ、ペルー）の国籍を持つ18歳以上の方 1,974人

※市町村ごとの対象人数を設定し、住民基本台帳より無作為抽出

（項目）基本情報、日本語、仕事、医療、子育て、教育、暮らし、行政サービス、山梨県、困っていること 各分野の計59項目

（方法）調査票を郵送配布し、郵送回収（期間）令和元年10月18日～12月10日

○ 回収結果

（実配布数）1,905票 ※未達を除いた数

（有効回収数）658票（有効回収率）34.5%

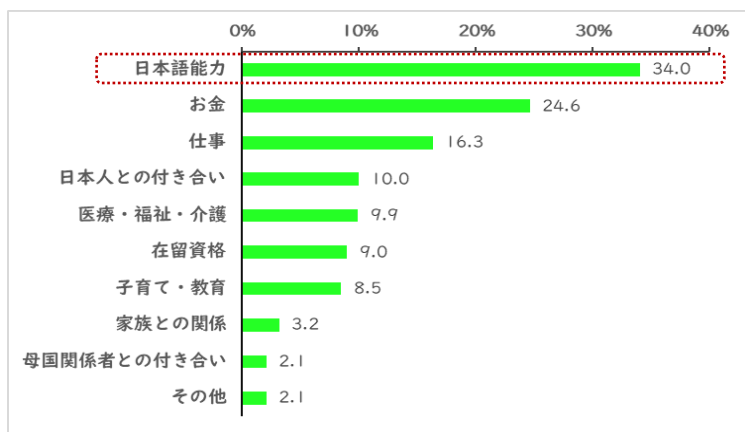
～回答者の状況～

- ・ 年齢：30代(25.5%)が最も多く、30代～50代が約7割を占める。
- ・ 国籍：「中国」(26.6%)が最も多く、「フィリピン」(19.8%)、「ブラジル」(19.0%)が続く。
- ・ 在留資格：「永住者」(47.4%)など、「身分に基づく在留資格」が約7割を占める。「専門的・技術的分野の在留資格」(7.0%)、「技能実習」(4.6%)、「留学生」(3.5%)が続く。
- ・ 日本に住んでいる期間：「10年以上」が66.7%、「3年以下」が14.6%。

～結果概要（主なポイント）～

- ◎ 生活の中で最も困っていることは、「日本語能力」。
- ◎ 働いていて困っていることでも、「賃金が安い」の次に、「日本語がうまく話せない」「コミュニケーションがうまく取れない」の回答が多い。
- ◎ 行政の取り組みで最も不便に感じていることは、「行政サービスの情報が届かない」。
- ◎ 地域活動に参加していない人が約半数いるが、そのうちの半分は「今後参加したい」と考えている。
- ◎ 山梨県についてほとんどの方が「住み続けたい」と思っており、「住み心地がよい」との理由が最も多い。

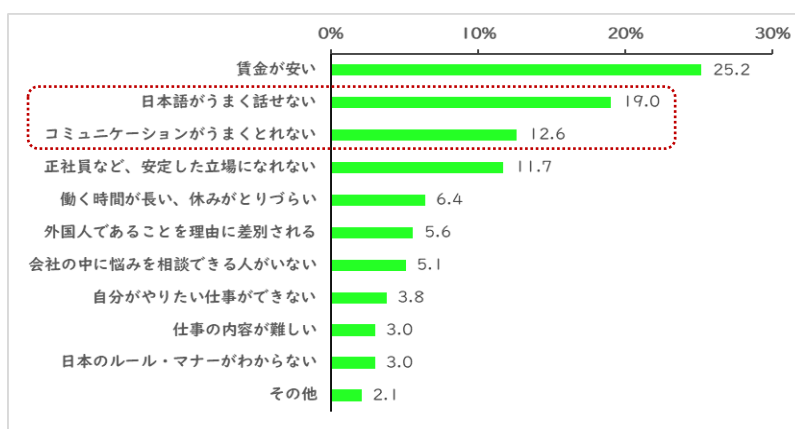
○生活の中で特に困っていること(複数回答)(n=658)



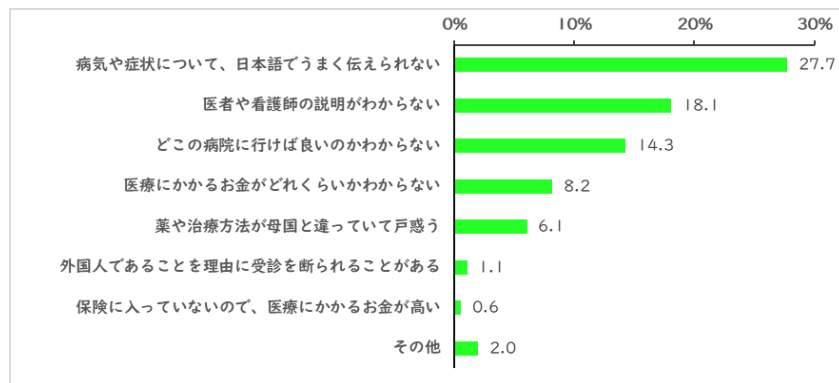
(注)・いずれも特になし及び無回答は掲載を省略している。

・(複数回答)の場合は、回答比率の合計が100%を超える場合がある。

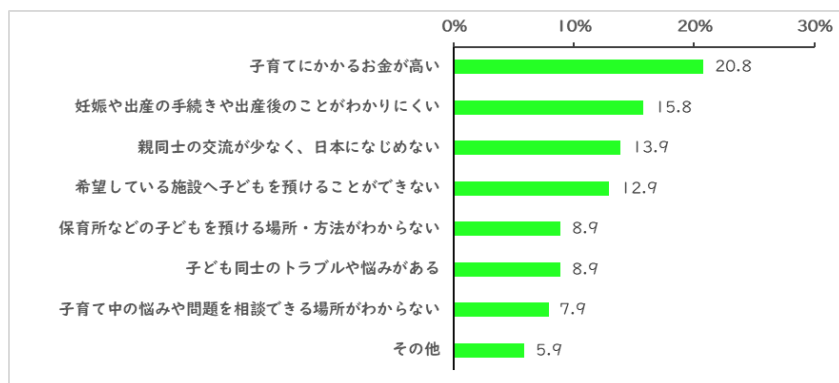
○働いていて困っていること(複数回答)(n=531)



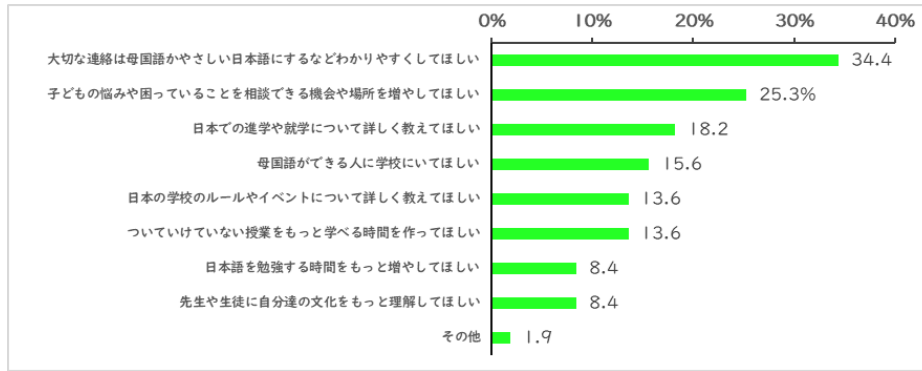
○病院を受診するときに困っていること(複数回答)(n=658)



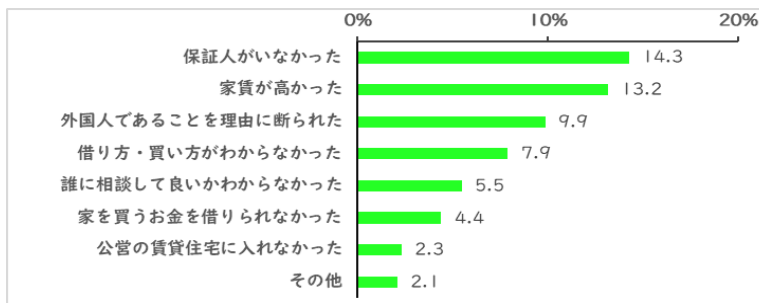
○子育てで困っていること(複数回答)(n=101)



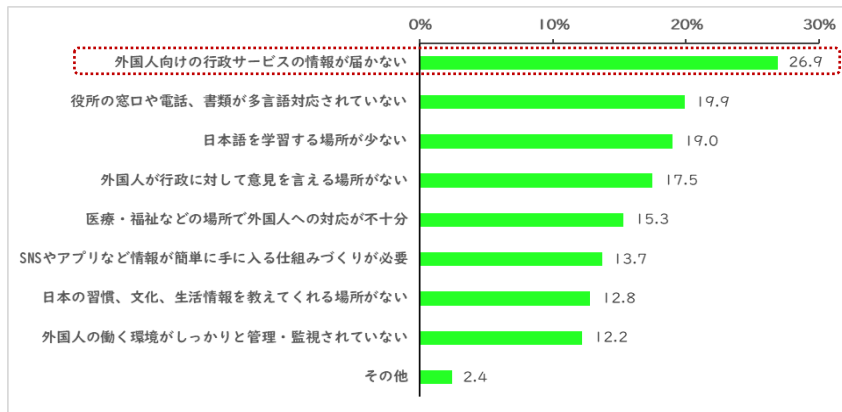
○子どもが通う日本の学校にやってほしいこと(複数回答)(n=154)



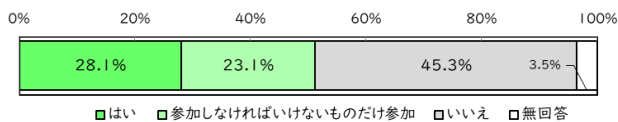
○家を探す時に困ったこと(複数回答)(n=658)



○行政の取り組みで、不便に感じていること、直してほしいこと(複数回答)(n=658)

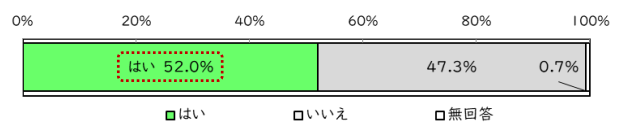


○地域活動に参加しているか(n=658)

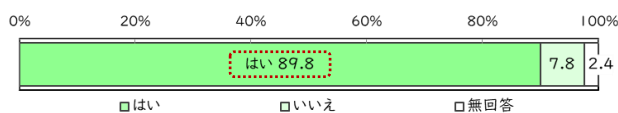


○地域活動に今後参加したいか

(左の質問で「いいえ」と答えた人のみ)(n=298)



○今後も山梨県に住み続けたいか(n=658)



○住み続けたい理由(複数回答)(n=591)

